



新たな未来へ～砂川市市制施行60周年記念式典～

(7月1日 地域交流センターゆう)

今年、市が市制施行60周年を迎えたことを記念し、多くの関係者や市民の参加のもと記念式典が開催され、この節目を祝いました。善岡市長は式辞の中で「幾多の試練と苦難を乗り越えながら発展を遂げ、今年、節目である市制施行60周年を迎えることができた。これも市民皆様のたゆまぬご尽力の賜物である。今後も今日の砂川市を築き上げた多くの先人から学んだ尊い教訓を深く胸に刻み、山積した重要な課題に取り組むために最大限の努力をしていきたい」と決意を述べました。



また、心呂座とゆうの子どもたちによる市民憲章の朗唱、式典後は、養老孟司氏が「未来の砂川を考える～人生を楽しむ流儀～」と題して講演を行い、時折笑いも混ぜながら軽妙なトークで会場を盛り上げていました。会場の外でも郷土資料室の移動展として、これまでの市の歴史を振り返った写真などが飾られ、参加者の目を楽しませてくれました。



●開会のことばを述べる
其田実行委員長



●北海道知事（佐々木空知総合振興局長代読）
飯澤議長から祝辞が述べられました
および



●心呂座とゆうの子どもたちが市民憲章を朗唱しました



●養老孟司氏の講演には皆さん熱心に耳を傾けていました

記念式典ならびに記念講演に、市内外からのご来賓の皆様をはじめ多くの市民の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。
実行委員長としての大役を務め上げ、無事終えることができ、安堵したところでもあります。

式典では、砂川の発展に多大なる功績を残された方々に感謝するとともに、その歴史の変遷を振り返り、市民劇団「心呂座」と「ゆうの子どもたち」と市民憲章を場内の皆様とともにこころをあわせて朗唱したことで、決意を新たにしたところでもあります。

また、記念講演では「未来の砂川を考える」と題し、「養老孟司」氏による、豊富な知識と経験に基づいた講義を頂戴し、未来を担う子どもたちの健やかな成長こそが、この先10年、数十年の砂川を支え、発展・飛躍に繋がるものであると導いていただきましたので、これからも子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

この式典を盛会に開催できましたことは、一重に皆様のご支援の賜物と、心から感謝とお礼を申し上げます。

市制施行60周年記念式典実行委員会
委員長 其田 勝則